



議会だより

2013.11
vol.40

ふじかわぐちこ



勝山中学校・雄飛祭

- 基本条例・議長就任挨拶 2～3P
- こういうことを決めました 4～7P
- 決算特別委員会 8～11P
- 一般質問 12～14P
- 委員会構成 15P
- 窓 16P

条例を制定しました

と見識を高め、進歩する議会をめざします。



議会議員の最高規範であります富士河口湖町議会基本条例を、9月定例議会の最終日(17日)に議員提案し、全会一致で可決、制定されました。

議会基本条例は、前文に続き第1章総則(第1条)から第12章補則(第21条)まであります。

(別表1)

前文では、地方自治の基本、町民の信託にこたえるための情報を公開し、信頼される議会、議員同士の自由討議、二元代表制としての議会のあり方、そして政治倫理を自覚しての行動と見識を高め、進歩する議会をめざす最高規範としてこの条例を制定する決意を述べています。

議会と首長の関係は明治の頃から変わりません。

この10月放映されたNHK大河ドラマ「八重の桜」に登場する八重の兄、山本覚馬が京都府議会の初代議長に就任。植村知事に「地方税の予算を議決する権限は府議会にある。」と、議会のあるべき立場を貫く場面がありました。執行機関に対する議会の監視機能が発揮されたエピソードです。

(別表1)

■富士河口湖町議会基本条例 ※内容はホームページでご覧いただけます。

前文	第7章	政務活動費(第10条)
第1章 総則(第1条)	第8章	議会及び議会事務局の体制整備(第11条-第14条)
第2章 議会及び議員の活動原則(第2条-第5条)	第9章	議員の政治倫理、身分及び待遇(第15条-第17条)
第3章 委員会の活動(第6条)	第10章	災害発生時の議会対応(第18条)
第4章 議会と町民との関係(第7条)	第11章	最高規範性(第19条・第20条)
第5章 議会と町長等との関係(第8条)	第12章	補則(第21条)
第6章 自由討議の拡大(第9条)		

富士河口湖町議会基本

信頼される議会、政治倫理を自覚しての行動

平成25年第5回議会臨時会が10月17日に開会されました。この臨時会は、町議会議員一般選挙後の初議会で、本会議において、議長選挙が行われ、第12代議長に小佐野快議員が当選し、副議長に佐藤安子議員が就任しました。

議長に 小佐野 快 氏



副議長に 佐藤 安子 氏



◆議長就任あいさつ

富士河口湖町議会議長 小佐野 快

議員多数のご推挙をいただき、議長の要職に就任することになりましたことは、身に余る光栄であり、感謝申し上げます。また、責任の重大さをひしひしと感じているところでございます。もとより微力ではありますが、職務遂行のために骨身を惜しまず努める決意でございます。

平成25年9月定例議会において、住民福祉の増進を図ることを基本とし、地方分権時代を迎え、住民に最も身近である町の自治が重視されるなか、住民の視点に立った議会をめざし、「議会基本条例」を制定しました。

今後は、町民参加の討議の場として、町民の多様な意見を反映し、町民の負託にこたえるべく、より一層「町民に開かれた議会」を目標に邁進いたします。

議会は町民の皆様との連携をさらに一層密にして、町の発展、福祉、教育文化の向上と研さんに努め、議会の活性化に誠心誠意努力いたします。また議会運営につきましても、それぞれの力量を十二分に発揮できるように配慮し公平無私の立場を貫きます。

今後とも町議会に対し、町民の皆様方の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます、就任のあいさついたします。

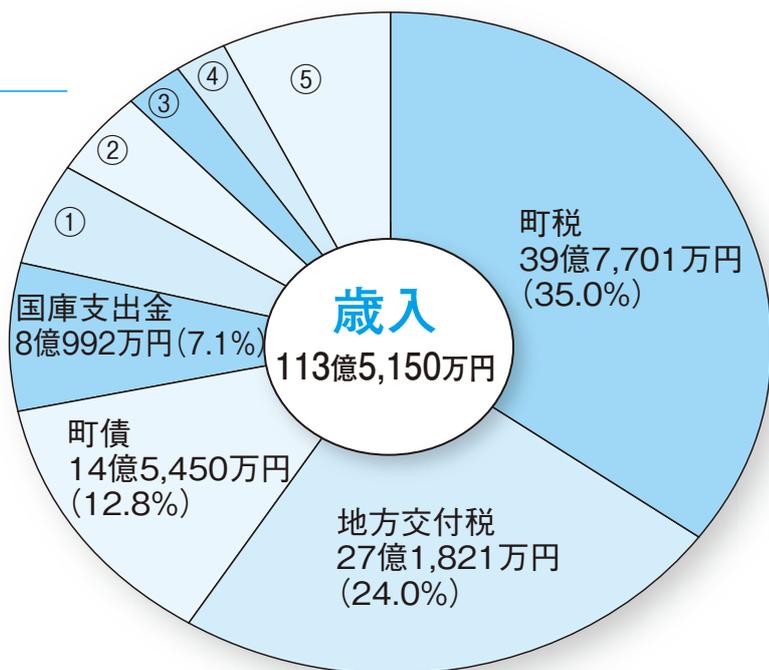
一般会計決算を審議

平成25年第3回定例議会

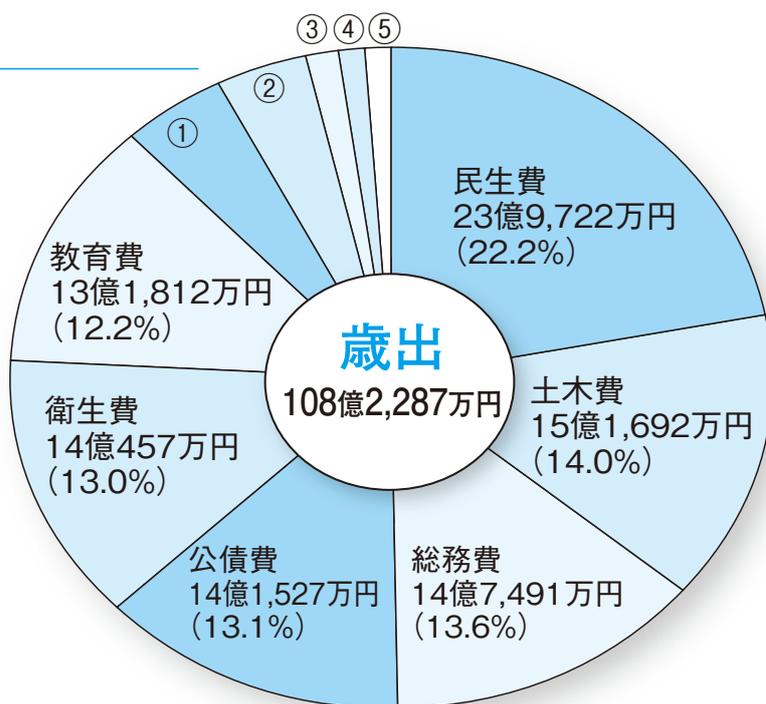
平成25年第3回富士河口湖町議会定例会を9月3日に開会し、会期を17日までの15日間と決めて、報告1件、条例の制定2件、条例の一部改正3件、組合規約の変更1件、補正予算11件、同意案件2件、請願1件、認定33件を審議し、すべて原案どおり可決、承認、認定して閉会しました。

平成24年度の一般会計、特別会計の決算認定については、議会選出の監査委員を除く17名による「決算特別委員会」を設置して審議し認定しました。

●平成24年度 一般会計決算の内訳



- ①繰越金
5億6,975万円(5.0%)
- ②県支出金
5億299万円(4.4%)
- ③地方消費税交付金
2億7,654万円(2.4%)
- ④繰入金
2億5,765万円(2.3%)
- ⑤その他
7億8,493万円(7.0%)



- ①商工費
4億8,522万円(4.5%)
- ②消防費
4億3,312万円(4.0%)
- ③農林水産業費
1億5,556万円(1.4%)
- ④諸支出金
1億2,288万円(1.1%)
- ⑤議会費
9,908万円(0.9%)

こういうことを
決めました!

平成24年度

◆ 請願 (1件) ◆

● 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

請願人 南都留地区PT

A協議会長 池谷 欣寿

外3人

紹介議員 佐藤 安子

小佐野 快

内 容 少人数学級を推進すること。教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持と国庫負担割合を2分の1に還元すること。教育条件の格差解消を図ること。

審議結果 全員賛成で採択

◆ 同意案件 (2件) ◆

● 船津財産区管理委員選任の同意

○ 日原 和美氏

○ 駒沢 信治氏

○ 長山 吉雄氏

● 大石財産区管理委員選任の同意

○ 藤井 米壽氏

○ 藤井 米壽氏

● 報告 (1件)

平成24年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

	平成24年度	平成23年度	比 較	要 因
実質公債費比率	12.5%	13.4%	△0.9%	減少した要因は、基準財政需要額への緊急防災減災事業債、臨時財政対策債などの公債費の算入による標準財政規模の増加による。
将来負担比率	92.3%	109.0%	△16.7%	下水道事業など公営企業等への繰入見込み額と債務負担行為が減少、財政調整基金の積立、将来の負担に対して充当できる基金の増加による。

※実質公債費比率とは、公債費(借金返済費用)を含む返済金合計がどれだけ財政に負担をかけているかを表す指標です。

※将来負担比率とは、自治体が将来支払う可能性がある負債合計が一般会計に占める比率です。

● 条例の制定 (2件)

▼富士河口湖町子ども・子育て会議条例の制定について

▼富士河口湖町議会基本条例の制定について

● 条例・規約の一部改正 (4件)

▼富士河口湖町税条例の一部を改正する条例の制定について

▼富士河口湖町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

▼富士河口湖町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼富士五湖広域行政事務組合規約の一部変更について

● 補正予算 (2件)

○平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第6号)

・子ども医療費助成金3,500万円

・船津保育所駐車場整備費6,010万円

・管内小中学校教職員及び児童用トイレ改修工事3,260万円

・舗装工事・雨水対策工事・側溝清掃工事他1,350万円

○平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第7号)

・富士ヶ嶺地区復旧工事300万円

特別会計補正予算(9件)

○平成25年度船津財産区特別会計補正予算(第2号)

船津保育所用地購入補助繰出金 1,600万円

○平成25年度小立財産区特別会計補正予算(第2号)

小立老人クラブ備品購入補助繰出金 60万円

○平成25年度河口財産区特別会計補正予算(第1号)

道路用地に係る流木の移植 228万円、河口分団旧詰所改修費 250万円

○平成25年度河口湖治水事業特別会計補正予算(第1号)

財政調整基金積立金 1,300万円

○平成25年度富士河口湖町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

保険給付費 9,200万円、高額療養費 1,000万円

○平成25年度富士河口湖町介護保険特別会計補正予算(第2号)

地域支援事業補助金の確定に伴う償還金 891万円、予備費 5,523万円

○平成25年度富士河口湖町水道事業会計補正予算(第2号)

水道施設のデータ計装盤修理 178万円

○平成25年度富士河口湖町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

マンホールポンプの更新工事及び舗装修理 2,210万円

○平成25年度精進特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

マンホールポンプへの動力配管移設工事 51万円

第4回議会臨時会

第4回議会臨時会が、7月18日に開会、慎重審議の結果、全員賛成で可決し閉会しました。
議案等は次のとおりです。

▼富士山世界文化遺産登録推進特別委員会審査報告

「富士山」が6月26日に世界遺産一覧表に記載されましたので、本特別委員会の経過等について議会へ報告しました。

▼富士山世界文化遺産保存管理推進特別委員会の設置

富士山の文化遺産として保存管理などを検討研究するために18人の議員で構成する特別委員会を設置しました。
委員長に渡辺余緒治氏、副委員長に堀内昭登氏が決まりました。

▼富士河口湖町自治基本条例の一部を改正する条例の制定

「富士山」が世界文化遺産に登録されましたので、条例の内容も修正しました。

▼平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第5号)

ハーブ館エアコン修理代、120万円
西浜小中学校プールガラス修理代、50万円

▼財産の取得(消防車の買入れ)

本栖分団消防ポンプ車1台を2152万5千円で購入しました。
※財産購入金額が、700万円を超えたため、議会の議決が必要となります。

▼財産の取得(バスの買入れ)

スクールバス1台を718万8920円で購入しました。
※財産購入金額が、700万円を超えたため、議会の議決が必要となります。

こういうことを 決めました!

第5回議会臨時会

町議会議員一般選挙後の第5回議会臨時会が、10月17日に開会され、委員会の構成、補正予算3件、同意案件12件を審議し、原案どおり可決して閉会しました。議案等は次のとおりです。

◆同意案件(12件)◆

- 富士河口湖町監査委員の選任同意
 - 倉沢 鶴義 氏
- 富士河口湖町河川湖治水委員会委員の選任同意
 - 山下 利夫 氏
 - 堀内 昭登 氏
 - 渡辺 元春 氏
 - 三浦 康夫 氏
 - 駒谷 隆利 氏
 - 流石 恭史 氏
 - 井出 正広 氏
 - 船津財産区管理委員の選任同意
 - 渡辺喜久男 氏
 - 小立財産区管理委員の選任同意
 - 渡辺 美雄 氏
 - 大石財産区管理委員の選任同意
 - 堀内 昭登 氏
 - 河口財産区管理委員の選任同意
 - 外川 貞治 氏
 - 湖南水道事業常任委員会委員の選任同意
 - 井出 正広 氏
 - 三浦 康夫 氏
 - 駒谷 隆利 氏
 - 流石 恭史 氏
 - 井出 正広 氏
 - 船津財産区管理委員の選任同意
 - 渡辺喜久男 氏
 - 小立財産区管理委員の選任同意
 - 渡辺 美雄 氏
 - 大石財産区管理委員の選任同意
 - 堀内 昭登 氏
 - 河口財産区管理委員の選任同意
 - 外川 貞治 氏
 - 小佐野 快 氏
 - 中野 貴民 氏
 - 倉沢 鶴義 氏
 - 高山 泰治 氏
 - 外川 正純 氏
 - 小佐野 快 氏
 - 梶原 武 氏
 - 正純 氏
 - 堀内 文仁 氏
 - 中村 順司 氏

特別会計補正予算(3件)

○平成25年度

大石簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

本管布設工事費 270万円、基金積立金 800万円

○平成25年度

富士河口湖町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

下水道管布設工事及びポンプ修繕費 1,654万円

○平成25年度

富士河口湖町一般会計補正予算(第8号)

勝山ふれあいセンター賃金 378万円

- 西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任同意
 - 外川 貞治 氏
 - 中村 順司 氏
- 勝山財産区管理委員の選任同意
 - 小佐野 快 氏
- 長浜財産区管理委員の選任同意
 - 梶原 忠雄 氏
 - 三浦 幸四郎 氏
- 西湖財産区管理委員の選任同意
 - 渡辺 茂 氏
 - 渡辺 秀一 氏
- 青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区管理委員の選任同意
 - 三浦 甫夫 氏
 - 三浦 美信 氏
 - 渡辺 美男 氏
 - 古谷 一義 氏
 - 三浦 悟 氏
 - 渡辺 中 氏
 - 渡辺 美男 氏
 - 渡辺 秀一 氏
 - 梶原 力 氏



平成25年10月16日改選 議会議員

町の予算が

平成24年度決算

どう使われたかを審議



一般会計
歳入総額
歳出総額

113億5,150万円
108億2,287万円

委員長
梶原 義美

副委員長
梶原 武

決算特別委員会

特別会計

財政調整基金の運用に 違いは

質問 財政調整基金の利子について、船津財産区の財政調整基金残高が約5億900万円、小立財産区の財政調整基金残高は約5億5000万円で、船津財産区の約103万円に比べ小立財産区は約半分となっている。同じ5億円の基金で利子に差が出ているがその運用は財産区で違うものか。

総務課長 一番多いのが定期預金で、その他に国債を運用している。定期預金は非常に金利が低く、約0・03%、国債は0・2%と金利が違う。船津財産区が国債での運用が多いため利息部分についても多くなっている。

国保税滞納者に対する 保険証の交付は

質問 一定期間以上の滞納があった場合、短期被保険者証を交付していると思われるが、その交付状況及び方法は。

住民課長 9月1日現在、短期被保険者証の交付世帯数は173世帯。納税相談を実施し交付しているが、どうしても相談に来られない

未交付の世帯がある。今後、税務課とも連携を図り納付指導等により被保険者の状況把握に努め滞納世帯の減少につなげたい。

介護保険法改正に伴う サービス時間及び内容は

質問 介護保険法の改正に伴い、訪問介護の生活援助のためのサービス時間が短くなり、会話がなくなつたという声を聞くが実態は把握しているか。

健康増進課長補佐 ケアプランを立てる段階で、従来どおりのサービスが必要であれば提供できるような事業所と検討している。実際にはそのような声も伺っているが、本人や家族にはケアプランを承諾してもらつたうえでサービスを提供している。

東電以外との契約は可能か

質問 水道事業会計の動力費削減のため東京電力以外の契約先は検討していないのか。

水道課長 緊急事態への対応は東京電力が素早いので継続している。電気料削減のために漏水修理に務めている。

質問 水道使用料金滞納分に給水停止措置を行っている報告があつたが、どういう場合に行っているのか。

水道課長 面談し、約束をしても払わない悪質と思われる案件について行っている。

水洗化普及率を上げるには

質問 下水道事業で水洗化率が68・4%、普及率が68・37%だが、受益者負担という中で普及率を上げる対策は。

水道課長 普及率は南岸が高く北岸が低い。北岸では側溝へ流入している例もあり、これには厳しい対応処置を検討している。

一般会計

要援護者への広報紙配布を

質問 広報紙は10月から自治会未加入世帯への配布を中止するが、要援護者への配布はどうなるのか。

政策財政課長 まだ協議が必要であるが、何らかの方法で必ず自宅に届ける。

災害時の水利の確保を

質問 消防施設費として消火栓新設及び更新事業に673万9000円。この新設場所は、地域からの要望で自治会、区と調整するとの説明だが、過日の南台地区の大火事で、

消火栓は足りていたのか地域住民が心配しているが。

総務課長 消火栓は足りているが、多くの消防車が一齐に放水すると水が足りなくなる。

質問 水圧不足や水不足では消火活動ができない。町長の公約である安心安全の町づくりからも消火栓や防火水槽の再確認を早急に実施してほしい。

総務課長 国も減災に力を入れているので補助も含めて十分な防火体制がとれるよう対応を計りたい。



選挙時、投票所となる船津保育所入り口

弱者へ配慮した投票所を

質問 選挙費について、船津保育所が投票所となるが、坂になっており高齢者や障がい者には不便で、投票をためらうケースもあると聞かが対策は考えているか。

総務課長 投票者数が最も多い投票所であり、他の公共施設も視野に入れて選挙管理委員会です十分検討する。

税金滞納への対策は

質問 税滞納に対して差し押さえが325件の報告だが、生活困窮者への対応も含め、実際に差し押さえに至る過程を伺う。

税務課長 督促状を送り、その後催告書を送り、何回か接触してまだ余裕があるという方を差し押さえる。生活困窮者への差し押さえはない。

質問 24年度決算では滞納減額が1億1000万円。プロジェクトチームを立ち上げた成果だと評価する。プロジェクトチームで1年間行ったが、反省や改善そして良かった点を伺う。

税務課長 職員を増員し、滞納整理の知識を身につけたことで成果があがっていると考える。今後ある程度徴収率が上がるまで、強化された組織として残したい。

食育祭りの内容と成果は

健康増進課長補佐 平成24年度に記念事業として食育祭りを開催した。参加者は300人程度で、記念講演、各種イベントを行い、食育に関する啓発ができたものと思われる。

子宮頸がんの予防接種の状況は

健康増進課長 小学校6年生から高校2年生までの該当者は847名おり、そのうち接種の済んでいる者が667名、接種率は78.7%となっている。

介護慰労金の支給状況と支給対象は

福祉推進課長 予算では40人に対し480万円の支給を見込み、実績は13人に260万円を支給した。支給基準は、施設に入所せずに在宅で見ていることが最低の条件で、介護度4から5、デイサービス、ショートステイ月の利用回数も支給の条件となる。

再質問 支給条件の緩和を望む。

町長 介護を含め、トータルに福祉関係に深く関わりたいと思う。ご意見を参考しながら

新年度に向けて取り組んでいきたい。

ゴミの減量、ボカシの普及拡大を

環境課長 ゴミの減量のためのボカシの普及については、ボランティアの主婦グループからの要請等があり、昨年は夜間に説明会を12〜13回開催した。25年度もゴミの減量、ボカシの普及に積極的に取り組む。



生ごみのたい肥化:EMボカシ

メガソーラーの設置申請はあるか

環境課長 富士ヶ嶺で申請がある。ただし世界遺産に登録された現在、景観を大事にしていくということ、指導をしている。

松くい虫の被害状況と対策は

農林課長 河口湖北岸、船津の天上山の下、鐘突堂裏の上部、浅川地区に被害が発生している。補正予算で対応してきた。今年度は県の補助金を使い進めていきたい。

いやしの里、かや葺きの基金

質問 かや葺きの維持管理のために年に1千万円の基金を積む計画であったが。

観光課長 平成24年度収支を見ると209万円の黒字ベースである。この金額では1千万円を積むことは困難なので、経営形態を考慮しながら将来的には基金を増やしていきたい。

公園の遊具の点検

質問 平成24年度は公園の遊具点検を具体的にどのように実施しているか。

都市整備課長 法定定期点検を年1回、業者に依頼し実施している。その他、毎月1回担

当者が全ての遊具の点検をしている。

平成25年度に公園の長寿命化計画を策定している。その中ですべての遊具の点検を行い、補修工事が必要か否かが全てわかっていくので、計画に基づき順次改修等を予定している。

乳ヶ崎線の拡幅は

質問 乳ヶ崎線で歩道がついていない部分は
どうなるのか。

都市整備課長 交渉を進めてきたが、現状では無理である。土地への立ち入り拒否、境界立ち入りが拒否されている状態である。

教育センターへの相談と 対応は

質問 教育センターの平成24年度の相談件数は。

教育センター長 平成24年度は電話による相談が114件、来所による相談が584件、家庭訪問の実施が116件である。

質問 かなり件数多く対応が大変かと思う。
解決に時間がかかるものもあるのでは。

教育センター長 ほとんどは2、3カ月程度で対応ができています。ただ、家庭や身体の問題などが残る場合があります。関係機関との連携をはかり、かなりの年数を見越した対応が必要になっている。



センターでの教育相談

今後の小・中学校の適正配置は

質問 適正配置の答申はすでに出ている。地域とともに話をする中で今後慎重な対応が必要かと思うが。

教育長 答申に基づき教育委員会で計画をつくったが、一部違った形で学校の適正配置がされた。答申からすでに5年が経過しており、その時の児童数、生徒数の減少の予測や現状の数値がかなり違っている。これから子どもたちに相談をしながら、また、地域の理解も得ながら、慎重に進めなければいけない。

サッカー場の利用促進を

質問 くぬぎ平のサッカー場の年間維持管理

費766万円に対し、収入額が43万円である。人工芝にすることも検討を。また、使用頻度を上げる方策を。

生涯学習課長 ご指摘のとおり、費用に対して収入が非常に少ない。事業説明会でも、多目的な使用ができるように、というご意見もあり、積極的に検討している。しかし、人工芝は耐用年数が10年で、3億円から5億円かかる見込みで、財政面での課題がある。補助金の活用も検討し、関係者と相談しながら対応していきたい。

財政健全化への取り組みは

質問 町債発行は、前年度比約1億730万円減少し、将来負担比率も前年度の109%から92.3%に減少、ここ数年ずっと減少している。どのような考えで財政健全化に取り組んできたか。

政策財政課長 平成20年からようやく収支が黒字に転換した。平成24年度末決算で、5億2000万円の黒字である。

職員が財政への危機感を持ち、歳入の増加と歳出の削減とをバランスよく構築してきた結果と考える。ただし合併の特例措置が終わり、平成26年度から徐々に交付税が低減する予定であり、今年度には財政の基本計画の立案をめざしている。

併せて公共施設の白書を作成し、より健全化を維持していきたい。

知りたい!

聞きたい!



健康マイレージ 事業導入を

質問 昨年9月に「健康ポイント制度」について質問したが、町民総ぐるみの健康長寿を目指して、健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントを貯め、貯まったポイントを有効に使う制度。「健康マイレージ事業」として注目され、多くの自治体で取り組んでいる。昨年の提案から1年が経過したが、検討状況を聞く。

健康増進課長 住民が自主的に健康づくりに取り組むための動機づけで、見える効果や達成感につながる有効な手段の一つである。既に導入している自治体の実施内容や効果、経費、課題など参考に調査研究を進めたい。

高齢者用肺炎球菌 ワクチンに公費助成を

質問 高齢者を中心に肺炎で亡くなる人は年間8万人に達し、日本人の死因の第4位になっている。一般家庭で暮らす70歳以上の肺炎菌は肺炎球菌が一番多い。肺炎球菌ワクチンは1回接種することで5年間は有効と言われ、接種費用は7000円程度。公費助成で多くの方に接種の機会を与えて

一般質問

いただきたい。

町長 ワクチン接種により肺炎発症の抑制効果は認められているが、再接種の効果や安全性についてはまだ検討されている状況。任意接種のワクチンであり、法律に基づくワクチン接種の認定が待たれている。国、県、近隣市町村の動向を踏まえ検討する。



スマイルサロンで元気に作業中

高齢者や障がい者に 雪かき支援を

質問 高齢者や障がい者は、毎年雪のシーズンになると雪かきが心配になる。雪かきは重労働のため、高齢者や障がい者にはできる作業ではなく、雪が一度降ると家から出ることも困難となり、孤立した状態になる。このような課題を解決して欲しいと相談が寄せられた。

福祉推進課長 昨年、健康科学大学の学生のボランティアで小立地区のみで実施した。学生ボランティアが少ないことと居住地の関係で、町全体の実施はできなかった。健康科学大学の学生だけではなく地域住民のボランティアを募集する方法で推進していきたい。また、要援護者本人も普段から自治会との関わりを持ちお願しやすい環境をくつづけていきたい。



一般質問者
佐藤 安子

1 世界遺産登録の今後について問う

質問 世界遺産登録は新たな時代の幕開けと言える。4つの湖ごとの特色を活かすためにはそれぞれのルール作りが必要と考えるが、今後の対応は。

政策財政課長 構成資産にふさわしい湖の環境と調和した利用の実現を見据え、湖や湖畔環境の望ましい姿を検討し、地域振興に寄与する環境整備、保全、活用等の方向性を模索する中で、実現化に向けた建設的な協議を山梨県と関係者と継続している。

再質問 世界遺産の保全、活用に向けて組織の再編もしくは課を横断した兼務の形で担当者を置く必要があると思うが。

政策財政課長 世界遺産保存管理活用の重要性は認識しているが、組織再編等は現在のところ考えていない。

再々質問 湖が世界遺産の構成資産になっているが、現在の減水している時期に消防用道路の整備など対応するべきではないか。

町長 防災道路についてはしっかりと整備すべきだという考えを持っているので、湖については現地視察して対応を考えていきたい。

2 町の建設計画を問う

質問 合併から間もなく10年を迎えるが、地域の要望が高い事業が残っている。新町の建設計画を再確認し、進捗状況について町議会、地域審議会等、さらに地域への説明もするべきではないか。

町長 地域間のバランスや維持管理費など将来にわたる財政負担なども熟慮する中で、住民に有益で必要な事業なのか、真に望んでいる事業なのかなど慎重に吟味し、町民が心から合併して良かったと実感できる施策を検証しながら進めていくことが重要であると考えている。

再質問 合併から10年経過したという理由で足和田出張所から正職員が引き上げられた。今後、上九一色出張所も同様になると、住民に大きな不便をきたすこととなる。住民生活に迷惑がかからないような配慮をお願いしたい。

政策財政課長 足和田出張所の正職員から臨時職員への変更については、平成十九年度に策定した行政改革大綱にのっとり進めている。上九一色出張所については、遠隔地であり広大な地域でもあるため当面の間は現状の体制を維持する方針である。

再質問 SNSの活用も情報手段として有効である。町でも公式フェイスブックを始めた



足和田出張所

3 町のPRについて問う

質問 世界遺産登録と同時期に、町のキャラクター「ふじびよん」が披露目された。有効に活用し、町内外へ積極的に出向くことが求められるが。

政策財政課長 「ふじびよん」のデビュー後、様々なメディアに取り上げていただき、徐々に認知され好評をいただいている。今後もグッズを作成する予定となっており、羽生市で開催されるイベントへの参加も予定している。

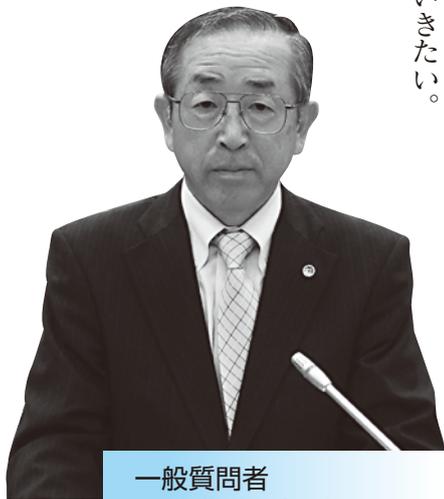
再質問 SNSの活用も情報手段として有効である。町でも公式フェイスブックを始めた

政策財政課長 運用開始後、週間閲覧者数はピーク時に2、870人となっている。今後有効に活用し、積極的に町のPRを進めていきたい。



富士河口湖町公式フェイスブック

一般質問



一般質問者
三浦 康夫

知りたい!

聞きたい!



Q1 放課後児童クラブ の改善・充実を

質問 子どもたちの生活の場である放課後児童クラブ。船津は120人前後の子どもたちを3〜4人の指導員が、小立は、70人を1〜2人の指導員が担当している。より安心して子どもたちが過ごせる場となるよう、職員の増員や体制強化を求める。

福祉推進課長 財政的なことも考えながら、環境整備、職員体制の充実をはかっていく。小立のクラブは2つに分けることも検討する。

新設道路に信号機や 横断歩道の設置を

質問 この間整備してきた河口2期バイパス、また、インター線の東恋路交差点から町民運動場までの区間には、信号機がなく歩行や車の通行が危ない交差点がある。また、河口湖畔から若彦トンネルに向かう県道富士河口湖芦川線は、通学路なのに、横断歩道すらない。これら新設道路に信号機や横断歩道の設置を。

都市整備課長 河口2期バイパスは工事完了後検討が必要。インター線は警察署より設置困難との回答があった。県道富士河口湖芦川線は、今年度中をめどに横断歩道を設置する。

一般質問

Q3 歩道の設置と歩行者の 安全対策を

質問 河口湖駅から乳ヶ崎南の交差点までの道路など、歩道がなく歩行が危ない箇所が多い。歩道の設置と安全対策への町の方針は。

町長 重要課題である。既存道路への歩道設置は、用地取得などの問題があり、財政面も検討しつつ取り組む。



東恋路交差点から町民運動場までの区間にある交差点

Q4 国保税の引き下げを

質問 国保税額は、所得割、資産割、均等割、平等割の4つの額を合わせて決まる。特に、1人あたり3万3500円の均等割は、家族が多ければ多いほど税額が増えるため、引き下げるべきだ。

住民課長 家族が多ければ、受益が多いことから、引き下げは難しい。

Q5 鳥獣被害対策の強化を

質問 シカ、イノシシ、サルによる農作物への被害は甚大であり、車の事故も頻発している。狩猟免許の取得啓発、ワナの追加購入などの取り組みを。

農林課長 猟友会のご協力で、今年度4月から6月までに、シカ107頭、イノシシ33頭、サル32頭捕獲した。農作物の被害も減少していると聞く。しかし、猟友会の後継者不足などの問題があり、狩猟免許の取得啓発などを検討していく。



一般質問者
山下 利夫

議会の委員会の構成が決まりました。

	議会議長 小佐野 快				議会副議長 佐藤 安子						
総務常任委員会委員	◎駒谷 隆利 佐藤 安子	○渡辺 元春 渡辺喜久男	渡辺 武則 梶原 武	渡辺 美雄 井出 總一	井出 正広 高山 泰治	山下 利夫 倉沢 鶴義					
文教社会常任委員会委員	◎外川 正純 佐藤 安子	○梶原 武 小佐野 快	流石 恭史 堀内 昭登	渡辺 美雄 三浦 康夫	中野 貴民 高山 泰治	山下 利夫 倉沢 鶴義					
産経土木常任委員会委員	◎井出 總一 小佐野 快	○堀内 昭登 渡辺喜久男	流石 恭史 渡辺 元春	渡辺 武則 外川 正純	中野 貴民 三浦 康夫	井出 正広 駒谷 隆利					
議会広報常任委員会委員	◎高山 泰治 佐藤 安子	○山下 利夫 渡辺 元春	流石 恭史 倉沢 鶴義	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民					
議会運営委員会委員	◎渡辺喜久男 高山 泰治	○倉沢 鶴義 駒谷 隆利	中野 貴民	堀内 昭登	井出 總一	外川 正純					
監 査 委 員	倉沢 鶴義										
富士五湖広域行政事務組合議会議員	渡辺喜久男	堀内 昭登	梶原 武	渡辺 元春							
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員	高山 泰治										
青木ヶ原衛生センター議会議員	渡辺 武則 堀内 昭登	渡辺 美雄 渡辺 元春	中野 貴民 三浦 康夫	井出 正広	山下 利夫	小佐野 快					
鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員	流石 恭史 外川 正純	中野 貴民 倉沢 鶴義	井出 正広	渡辺喜久男	井出 總一	渡辺 元春					
河口木無山外六字恩賜県有財産保護組合議会議員	高山 泰治	駒谷 隆利									
河口湖南中学校組合議会議員	流石 恭史 渡辺 元春	渡辺 美雄 外川 正純	中野 貴民	井出 正広	渡辺喜久男	井出 總一					
青木が原ごみ処理組合議会議員	渡辺 武則	山下 利夫	小佐野 快	三浦 康夫	倉沢 鶴義						
河口湖治水委員会委員	山下 利夫 三浦 康夫	小佐野 快 高山 泰治	堀内 昭登 駒谷 隆利	井出 總一 倉沢 鶴義	渡辺 元春	外川 正純					
湖南水道事業常任委員会委員	流石 恭史	中野 貴民	井出 正広	小佐野 快	梶原 武	外川 正純					
消 防 委 員 会 委 員	渡辺 武則	佐藤 安子	渡辺喜久男	渡辺 元春							
都市計画審議会委員	渡辺 美雄	堀内 昭登	井出 總一	外川 正純							
国民健康保険運営協議会委員	流石 恭史	梶原 武	三浦 康夫	駒谷 隆利	倉沢 鶴義						
介護保険運営協議会委員	井出 正広	渡辺 元春	高山 泰治								
地下水保全審議会委員	渡辺 美雄	中野 貴民									
温泉事業運営審議会委員	井出 總一	渡辺 元春	三浦 康夫								
公共下水道審議会委員	渡辺 美雄	中野 貴民	山下 利夫	堀内 昭登	駒谷 隆利						
山梨赤十字医療施設経営審議会委員	佐藤 安子	渡辺喜久男	梶原 武	三浦 康夫	倉沢 鶴義						
富士山世界文化遺産保存管理推進特別委員会	◎倉沢 鶴義	○流石 恭史									
議会改革推進特別委員会	◎高山 泰治	○外川 正純									



奥河口湖の花畑活動

ロングビーチ・21 (トウェンティワン) 会長
三浦 富士枝 (長浜)

はじめにサークルの名称から紹介させていただきます。

ロングビーチとは「長い浜」、21は「平成21年に発足」また発足当時「21名の会員」でスタートした事で命名しました。現在は34名の会員が活動しています。

活動の目的は、県道沿いにある休耕地を花畑にし、「奥河口湖のミニ魅力」にしたい事です。地主さんに交渉した結果、ご好意で無償提供していただき、奥河口湖の活性化につながる花畑を作る事ができました。

当初は、畑に種類の違う花を区分けして種まきでしたが、花の咲く時期になってもあまり見栄えがしないので、現在は同一の種とした事で見栄えがする様になりました。

活動を通して一番の苦労は、この休耕地が県道の拡幅工事やトンネル工事等で出た土を代替地に積み上げた土地で、中は石ころだらけだった事です。大きな石は直径40〜50cmもあり、重機による掘り起こしもあったり、会員全員で石ころを拾う作業が続きました。

しかし最近では、花の見頃になると観光客が花畑の中に入り、写

真撮影をする様子を目にして嬉しく思い、逆に花畑に目を向けていただき、ありがとうと感謝の気持ちになります。

昨今、町では奥河口湖の親水公園化の計画が進んでいると聞きます。完成後は訪れた皆様が気持ちよく公園内を散策出来るよう、私達も維持管理に協力していきます。最後に、今までご協力いただいた町の観光課、県土木建設課に感謝申し上げますと共に、今後も引き続きご協力をお願い致します。



ルピナスと仲間達

議会を傍聴しませんか 次の定例会は12月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

我が輩は議会だよりである。その名の通り議会と町民との中間にあつて、議会の動き等を町民に伝えるのが仕事である。

議会議員改選後、最初の議会だよりとなる。9人の議会だより委員が大いに議論をし、試行錯誤の末の作品である。彼らのより良い議会だよりの作成について熱い話し合いの中から我が輩が生まれてきた。

地方分権改革のなか、富士河口湖町議会基本条例の制定後、初議会を終わって、町民から負託を得た議員が「任んでよし、訪れてよし」のまちづくりは、議会が変わらなければよいまちづくりができる。

住民との対話、学ぶ議会、行動する議会、改革する議会を目指す議会の議会だよりとして、我が輩も責任重大である。

町民の皆様、次号の我が輩も楽しみに。(高山泰治記)

● 議会広報常任委員会

- 委員長 高山 泰治
- 副委員長 山下 利夫
- 委員 流石 恭史



- 佐藤 安子
- 中野 貴民
- 渡辺 美雄
- 渡辺 武則
- 渡辺 元春
- 倉沢 鶴義